

星と月の観察

～家族みなさんと空を見上げてみませんか～

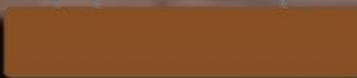


【星の観察①】

星座早見盤を組み立て、星座早見盤の縁にある日付と時刻を観察する日時に合わせてみます。そのとき中央の窓に見える星（星座）が実際の星空の様子になります。



星座早見盤は頭の上にかざして持ちます。例えば、南の空を観察するときには、体を「南」向きにして立ち、星座早見盤の「南」を下にしてかざします。方位によって、体と星座早見盤の向きを変えてくださいね。



【星の観察②】

昼間のうちに、どこで観察するか決めて、方位と周辺
の目印になる建物や木など（動かないもの）をか
いておきましょう。

1つの場所で4方位（東西南北）すべての空は見
えないと思うので、場所をかえて観察してください。



方位はどうやって調べますか？
大人に聞きますか？
便利なアプリもありますね。
棒磁石を使って調べる方法も
ありますよ。

【観察カードの例】

<観察カード> 星の1日の動き方
3年組 氏名()
~教科書末巻の星座早見を作って観察しよう~

座 <small>(星座の名前が分からない場合は無記入)</small>	観察日 [月 日 ()] 時間 時 分 ~ 時 分
---	---------------------------------

電柱
変圧器
樹木
アンテナ
屋根
方位
東 南 西
80°
70°
60°
50°
40°
30°
0°

星の高度は、握りこぶしで測ります。
測り方は、教科書P.194にあります。

垂直（頭上）は 90°

こぶし3つ分は 30°

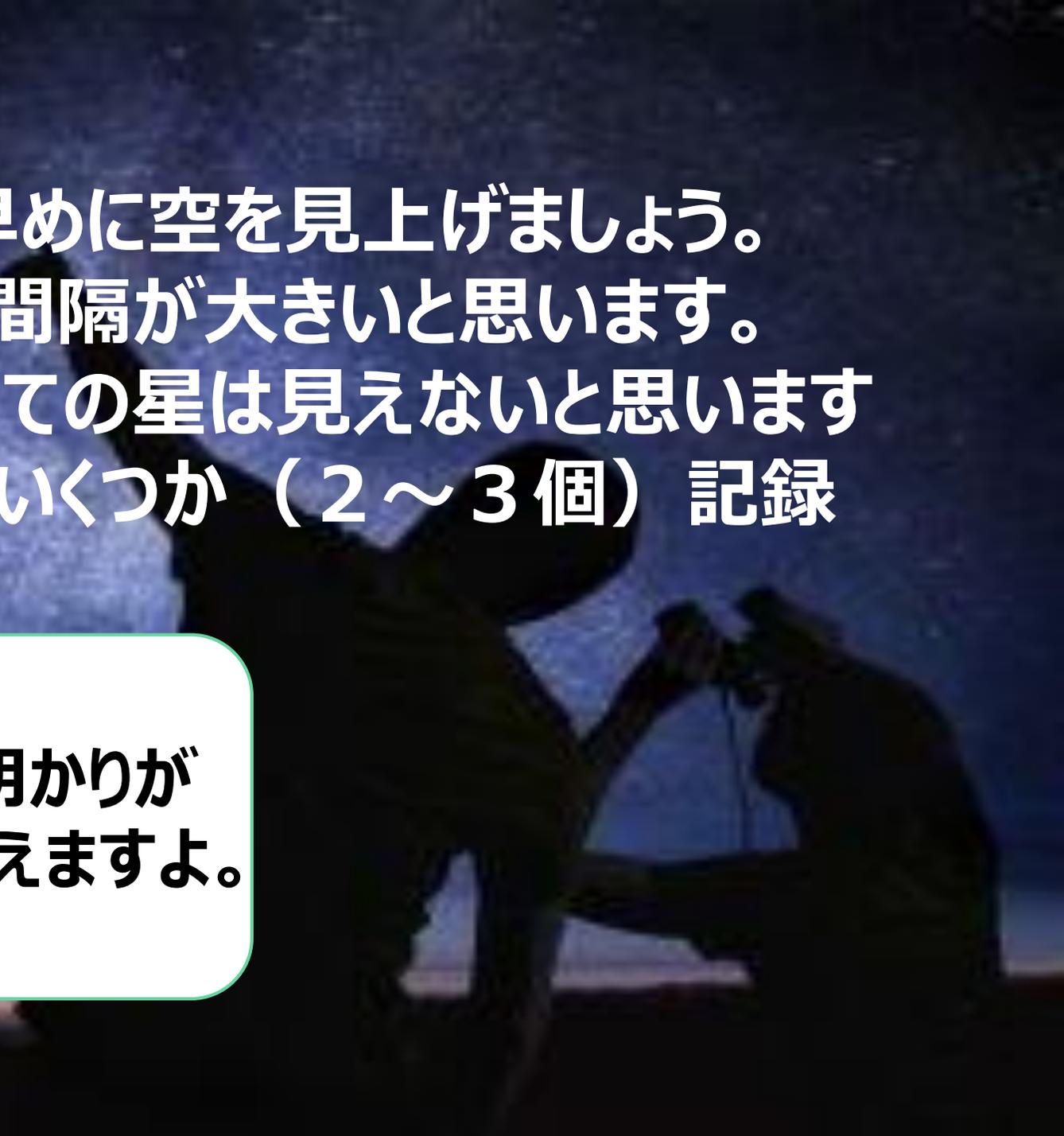
肩の高さが水平 0°

【星の観察③】

予定の時刻より少し早めに空を見上げましょう。思っているより星と星の間隔が大きいと思います。また、星座を形作るすべての星は見えないと思いますので、明るく目立つ星をいくつか（2～3個）記録できればOKです。



部屋や電灯の明かりがない方がよく見えますよ。



【星の観察④】

必ず時刻を確認し、星の位置を記録します。
時間による見え方の規則性を探るための観察なので、
きっちり**1時間ごと**に記録してください。



大切なのは「**いつも同じ場所から観察する**」ということです。場所が変わると位置がずれて見えてしまうからです。待ち時間は、他のことをしていてOK！でも、うっかり時間が過ぎることのないようにね。



【月の観察①】

星の観察②と同じように記録カードの準備をします。

必ず時刻を確認し、月の位置を記録します。

1日ごとの見え方の規則性を探るための観察
なので、きっちり**1日ごと（24時間ごと）**
に記録してください。



日没前から観察ができるよ。
月の近くに明るく光る星が見えたら、
それは金星です。
金星はラテン語ではウェヌス。英語で
はヴィーナスと呼ばれています。

【月の観察②】

星の観察④と同じ。よく晴れた日を選んでください。

必ず時刻を確認し、月の位置を記録します。

時間による見え方の規則性を探るための観察なので、
きっちり**1時間ごと**に記録してください。



観察が終わったら、いよいよ調べ学習です。教科書をよく読んで、1時間ごとの動きや1日ごとの動きについて、まとめよう！
学習に役立つサイトを活用してもいいね。